

「笑顔のループ」交流文化祭：下線部の意味を調べ、〈 〉は正しいものに○をつけよ

12月8・9日に行われた文化祭では、あちこちで欣喜雀躍する姿が見受けられた。今回の交流文化祭は、最初の挨拶の中で、「笑顔」の話をした。①真剣に楽しむ笑顔、②無事故の笑顔、③関わっている人すべての人の笑顔、この3点で「笑顔のループ（循環）」を目指した。3年生のある生徒は、「今まで生きてきた中で一番楽しかった」とまで言っていた。（Let's enjoy! MC上手！Let's bamboo がうちの定番？）

私の感想：「今回は、首を傾げる振る舞いや眉を顰める行動は皆無で、私も先生方も保護者の方々も生徒の皆さんの一挙手一投足に、頬を緩め、目を細めていた。アクリエにおける真剣な舞台、例えば分教室さんの演技に＜温かい・暖かい＞眼差しで拍手を送り、楽しい演技には工夫してチアアップしてくれた。各文化部・各クラスの展示は良く工夫され、特に文化部は付け焼刃ではない活動がよく伝わってきた。近畿大会・県大会出品の書道作品、県大会出品の美術・写真作品。中庭での模擬店も無事故で混乱もなく、円滑に販売できており、食べ歩き・ポイ捨て等のマナー違反も無いようだった。野外フェスのような盛り上がりを見せた＜有志・融資＞・軽音楽部のパフォーマンスでは、『笑顔のループ』が弾けていた。MCも最高！K部の顧問が目頭を押さえ、K部の部長が目頭を熱くしていたようだった。6 minutesのダンスは秀逸だった。片付けの手際もよく、公共スペースにはごみ一つ落ちておらず、トイレの下駄も揃っていた。『絶対無事故』への思いは、共有できていた。縁の下の生徒会、放送部もありがとう！

先生方には昨年から『生徒のために汗を流し、生徒と共に涙する』姿勢をお願いしている。先生方が『心配より信頼』で、生徒の笑顔のために何ができるか、生徒と共に感動するためにはどうすればいいかを考えて動いていただいている姿勢は、生徒の皆さんにも伝わっているのではないかな。感動とは、心が何かに突き動かされ、震えることだ。その震えの幅が大きいほど、心は成長する。成長した心は、強くなり、困った時に自分を支えてくれる。流行語大賞特別賞の『青春ってすごく密なので』は、その密が本当は大切なものであることを教えてくれた。展示物一つとっても、ダンスの振り付け一つとっても、『ああでもない、こうでもない』と密に談義して工夫することが、人とのつながりを強くし、人を成長させる。卒業後の同窓会で『あの交流文化祭の時、○○やったなあ』って言い合える思い出になったのではないかな。また、それぞれが『成長できた』と言える交流文化祭だったのではないかな。人は人の中で生きるのだから。」



PTA・保護者の皆様へのお礼

中学校の卒業式、高校の入学式がまともにできていないこの3年生のために、何かできないかという思いから、①生徒会がアクリエを提案、②先生方の思い、③PTAの資金面での援助があり、この交流文化祭は成立した。生徒の思いと先生方の思いをよくくみ取っていただき、快く支援していただいたPTAに改めて感謝申し上げます。また、保護者の皆様の校内への入場について、駐車証・参加証の提示をお願いしていたところ、全ての保護者の方々が持参され、ルールを守っていただいた。このことにも改めてお礼申し上げます。そんな保護者の方々に育てていただいた生徒諸君だからこそ、ルールやマナーを遵守することができるんだろう。生徒のみなさんはちゃんと保護者の皆様に感謝を伝えてほしい。

「笑顔のループ」はつながっている。

♪アイウォンチュー〜ヘビーローテーション♪

朝日新聞「折々のことば」より

12月10日付朝日新聞1面の「折々のことば」より「おおきくなるっていうことは ちいさなひとにやさしくなれるってこと（絵本『大きくなるっていうことは』中川ひろたか）」深い！

We keep on trying. 挨拶日本一の高校・遅刻ゼロの高校を目指して 文責：姫路別所高等学校長 篠原 歩